

未来を創る
はじまりの仕事。

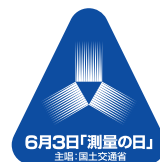
6月3日は
測量の日

2024年(令和6年)

ひとりでも多くの方が測量や地図に親しみ、その重要性について理解していただけたら・・・、そんな願いをこめて平成元年に制定された「測量の日」も今年で36年目を迎えました。6月3日を「測量の日」としたのは、測量法が昭和24年6月3日に公布されたことに基づいています。



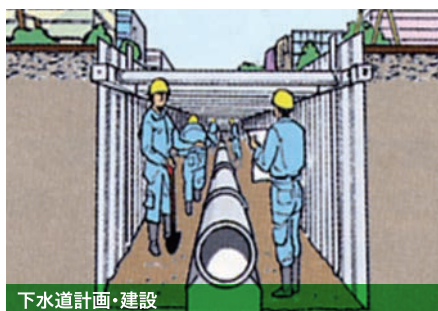
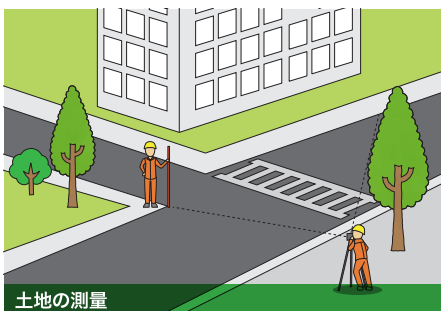
主 唱 国土交通省
推進団体 「測量の日」実行委員会



測量は、私たちの暮らしの中で、 どのように役立っているの？

測量は、私たちの暮らしと密接に関わっています。

都市計画、道路建設、空港整備や農地の整備などの公共事業を行うときは、基準点を使用して、正確な位置（緯度、経度、標高）を求める測量が必要です。



ダム、空港、道路、鉄道などの大規模な公共事業から、身近な土地の測量や上下水道などの建設まで、様々な場面で正確な測量が行われています。

また、私たちの暮らしの中でもスマートフォンやカーナビのように、現在位置の取得などに測量の技術が日常的に利用されています。

このように私たちの暮らしの中で、測量はさまざまところで関わり、重要な役目を果たしています。

地図は、私たちの暮らしの中で、どのように役立っているの？

地図は、私たちの暮らしの安心を支えています。

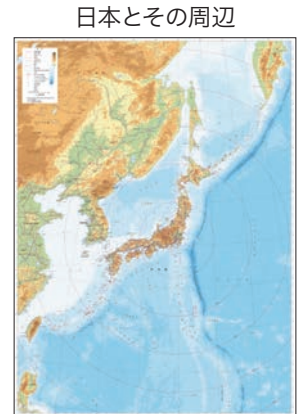
地図は、行政における各種計画、防災・減災対策、教育、レジャーなど、多方面で広く活用され、私たちの暮らしに欠かせないものです。



▲登山・レジャー
(スマホ対応)



▲防災・減災対策



▲地図・地図帳

地理院地図は、国土の地図や写真等を見ることができるウェブ地図です。

地理院地図は、国土地理院の整備する各種地理空間情報（道路や鉄道など最新状況が反映される電子国土基本図の他、空中写真、標高、地形分類、災害情報）などを閲覧出来るウェブ地図です。

災害の備えとなる防災地理情報も提供しています。

地理院地図にアクセスしよう！

地理院地図のポイント

(1)最新の道路や鉄道が載っている！

主要な道路や鉄道を供用開始日に地図に反映

**(2)地形や災害リスクがわかる
地図・写真が見られる！**

様々な情報を収録（自然災害伝承碑など）

(3)昔の写真が見られる！

戦前～現在の土地の変遷も見ることができる

(4)どこでも標高がわかる！

洪水・津波等の災害対策に役立つ

(5)3Dでも見られる！

様々な情報を3Dにして見ることもできる



パソコンや
スマホから
アクセス！



地理院地図
<https://maps.gsi.go.jp/>

●行政における各種計画支援



●災害時の迅速な対応、復旧活動を支援



●カーナビ・ITSでの利用



このように地図は私たちの暮らしを守るために欠かせない、重要な役目を果たしています。

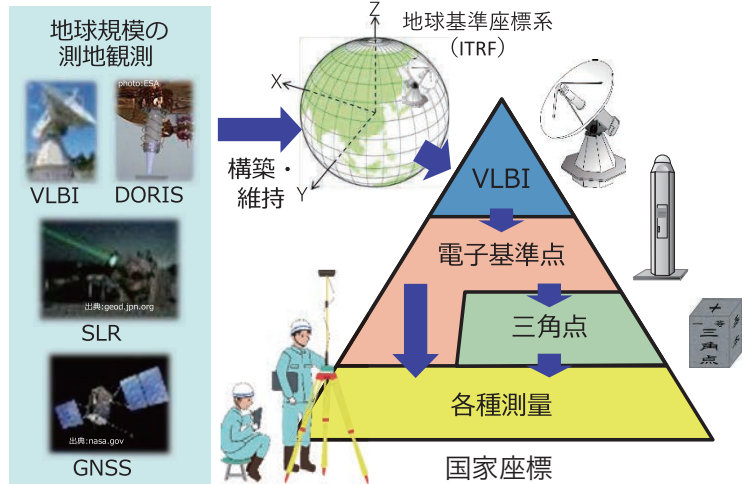
高精度測位社会を支えるための測地観測技術

国際的な基準に基づいて国土の位置を定める取組

位置情報(緯度・経度・高さ)を正確に定めることは、国土の管理・保全のほか、私たちの経済活動を円滑に行うために必要なことです。

宇宙のかなたにある天体から届く電波を使用したVLBI[※]観測、GPS等の測位衛星(GNSS衛星)からの信号を使用した電子基準点、全国各地に設置している三角点の位置を決定しています。

地球上における日本の位置を正確に定めることにより、国土の明示・管理・保全に必要な不可欠な基礎情報を維持・管理し提供しています。



※VLBI (Very Long Baseline Interferometry: 超長基線電波干渉法)

宇宙のかなたにある天体から届く電波を地球上の2つ以上のパラボラアンテナで受信し、受信時刻の差から数千kmもの距離を数mmの精度で測る技術。

電子基準点による位置情報サービスの支援

電子基準点の観測データは測位信号の誤差を低減する補正情報生成に利用されています。この補正情報を利用するとリアルタイムでセンチメートル級の位置を決定することができるため、補正情報は測量・建設・農業等様々な分野で利用され、作業の効率化に貢献しています。

